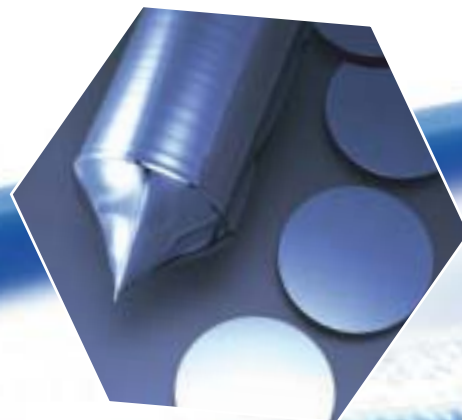


ShinEtsu

しんえつ・レポート



第128期中間報告書

(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

株主・投資家の皆様へ



株主・投資家の皆様には、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第128期営業年度(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

国内景気は緩やかに回復し、米国・東南アジアでも景気拡大が続く

当上半期のわが国の経済は、輸出と民間設備投資に支えられ、デジタル家電需要の盛り上がりもあり、全体として景気は緩やかに回復しました。米国では、設備投資の伸びや消費の増加により景気は拡大傾向が続ぎ、東南アジア・中国でも景気の拡大が続きました。

企業価値を高める株主重視の経営に継続的に取り組み、2ケタの増収増益を達成
当社は、企業価値を高めることを第一とする株主重視の経営を基本方針としております。このため、それぞれの製品において世界最高水準の技術、品質、コスト競争力を達成し、これにより世界各国の数多くの顧客と安定した取引関係を築き、経済情勢や市況の変化に的確に対応できる事業体制の確立を図っております。

当上半期の当社グループは、国内の景気の緩やかな回復と米国・東南アジアの景気

拡大にも支えられ、世界市場で培った営業力や特徴ある製品群を生かし、世界中の幅広い顧客に販売を行うとともに、生産性向上やコストダウンにも引き続き取り組むことにより、売上・収益の向上に積極的に努めてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の連結決算は、売上高4,685億円、営業利益768億円、中間純利益465億円となり、いずれも前年同期を大幅に上回る2ケタの伸びとなりました。

各事業分野の展開

塩化ビニル樹脂は、優れた物性・加工性・経済性を備えており、原油・天然ガスへの依存度が低い樹脂として、中国・東南アジアだけでなく、北米や欧州でも需要が堅調に伸びています。米国のテキサス州とルイジアナ州に製造拠点を持つ、世界のトップメーカーであるシンテック社は、世界の塩化ビニル樹脂生産の中核拠点として強固な地位を確立しており、北米だけでなく、世界各地の顧客に製品を供給しています。また、オランダのシンエツPVC社は1999年の買収以来、順調に事業を拡大し、2003年11月には買収後初の生産能力の増強を行いました。これら米国、欧州、日本を合わせた当社グループの塩化ビニル樹脂の生

表紙の写真

- 上 : 300mm半導体シリコンのインゴットとウエハー
- 中央 : タイで生産を開始した、シリコーンオイル製品とシリコーンエラストマー製品
- 下 : 塩化ビニル樹脂製サイディング材(外壁)を使用した住宅

産能力は、年間350万トンに達し世界最大となっており、引き続きこの生産能力と世界市場で培った営業力を十分に活用し、世界的に事業の強化に努めてまいります。

シリコン事業は、電機・電子、自動車、化学品製造、トイレタリー・化粧品、建築など極めて広い需要分野を持ち、これらの産業の発展とともに事業を拡大し、2003年10月に事業化50周年を迎えました。国内では今後も製品特性を生かした新製品と新規用途の開発を促進し、さらに需要を深耕してまいります。また、海外では、米国の機能性シラン工場、および2004年3月から稼働したタイ工場の安定操業に注力し、事業の拡大を目指してまいります。

半導体シリコン事業では、最先端300mmウエハーの生産能力増強を進めており、200mm以下の製品では、品質の差別化による競争力の強化に引き続き取り組んでまいります。また、特殊ウエハーの拡販にも努力いたします。

合成石英事業では、液晶パネル製造時に使用される大型マスク基板が好調に推移しており、今後の需要拡大に的確に対応してまいります。

セルロース事業では、2003年末に買収したドイツのSEタイロース社が加わり、

幅広い製品を有する強みを生かし、事業の拡張に努めてまいります。

当社では、これら既存事業の強化・充実だけでなく、さらなる事業発展の芽となる新規テーマの研究開発と、事業買収等も視野に入れた、新しい事業の開拓に積極的に取り組んでおります。この取り組みから事業化された、半導体デバイス用フォトレジストやSOIウエハー、液状フッ素エラストマーなどの製品は、さらに強化・育成に注力してまいります。

安全確保と環境保全を最優先事項として、積極的に推進

当社が「安全・環境第一」を経営の基本に置き、安全確保と環境保全を重視した事業活動を進めています。

環境保全に取り組むグループの指針として、1998年に「環境基本憲章」を策定し、その理念にのっとった事業活動を行っております。また、当社の全事業所と主要子会社は、環境管理の国際標準規格であるISO14001の認証を取得し、環境の保全と地域社会との協調に取り組んでおります。

また、従業員が働きやすい環境をつくるのが会社発展のための重要な課題であり、従業員が能力を最大限に発揮できるよう実力主義を徹底しております。

利益配分について

中間配当は1株につき10円と増配利益配分につきましては、長期的な観点に立ち、事業収益の拡大と企業体質の強化を図りながら、継続した安定配当を実施していくことが重要であると考えております。内部留保金は、設備投資、研究開発投資、事業買収などに充当し、国際的な競争力の強化と今後の事業展開に積極的に活用し、企業価値を高めるよう努力しております。

なお、当期の中間配当金につきましては、1株につき2円増配の10円とし、年間では4円増配の1株につき20円を予定しております。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2004年11月

代表取締役社長

金川千尋

過去1年の信越グループの主な展開

2003年11月

クラリアント社(本社:スイス)のセルロース事業買収を発表。

2003年11月

シンエツPVC社(オランダ)が、塩化ビニルモノマーと塩化ビニル樹脂の生産能力を増強。

2003年12月

塩化ビニル樹脂の日本国内での商慣行変更と値上げを発表。

2003年12月

クラリアント社のセルロース事業の買収手続きが完了、SEタイロース社(ドイツ)としてスタート。

2004年3月

信越半導体(株)が、300mmシリコンウエハーの生産能力を、2004年末までに現在の50%増の月産30万枚へ増強する計画を発表。

2004年3月

シンエツ・シリコーンズ・タイランド社(タイ)が、シリコーンオイル製品およびシリコーンエラストマー製品の商業生産を開始。

2004年4月

アジア・シリコーンズ・モノマー社(タイ)が、シリコーン製品の間接原料の商業生産を開始。

2004年4月

信越ポリマー(株)が、生産子会社のシンエツ・ポリマー・ハンガリー社で、主力製品の携帯電話や自動車電装用キーパッドの生産を開始。

2004年7月

信越ポリマー(株)が、深圳(中国)でのOEMによる塩ビコンパウンドの生産を開始。

2004年8～10月

塩化ビニル樹脂製品、セルロース誘導体製品、シリコーン樹脂製品、半導体封止用エポキシモールドディングコンパウンドの値上げを発表。

2004年10月

シンテック社が操業開始30周年を迎える。

タイのシリコン事業が相次いで始動

アジア・シリコーンズ・モノマー(ASM)社は、2004年4月から中間原料のシリコンモノマーの商業生産を開始しました。ASM社は当社、米GE社および株式会社東芝との合弁会社として2001年2月に設立され、2002年に工場建設に着工しました。最新設備を備えたASM社は、シロキサン換算で年産7万トンの生産能力を持っており、生産されたシリコンモノマーは、当社子会社のシンエツ・シリコーンズ・タイランド(SEST)社とGE東芝シリコーン(GETOS)社に供給されます。

また、SEST社は、ASM社から供給されるシリコンモノマーを確実に製品化できるように、ASM社の操業に先立って、2004年3月に商業生産を開始しました。現在、SEST社では、ASM社のシリコンモノマーから、シリコンゴムやオイルなどの各種シリコン製品を製造・販売しており、同工場は、当社の海外シリコン工場の中で最大の生産能力を有しています。

ASM社およびSEST社は、2004年5月から6月にかけて、それぞれオープニングセレモニーを開催しました。式典にはタイの政府関係者などの来賓を招き、タイの伝統的な慣習にのっとり、工場の安全と発展を祈願しました。また、SEST社は簡素な式典とし、開所記念として工場近隣の6つの学校に寄付を行いました。

当社は、このタイにおけるシリコン事業の確実な戦略化に、今後も注力してまいります。



アジア・シリコーンズ・モノマー社のオープニングセレモニー
(2004年5月)



シンエツ・シリコーンズ・タイランド社のオープニングセレモニー
(2004年6月)

当社従業員が福井豪雨の災害ボランティア活動に参加

2004年7月に福井県北部を襲った局地的な豪雨では、死者・行方不明者5人、負傷者17人、家屋の損壊・冠水が約1万5千世帯に及ぶ大惨事となりました。武生市にある当社武生工場とグループ会社の建屋や設備に被害はありませんでしたが、隣の福井市中心部を流れる足羽川^{あすわ}の氾濫により、約60世帯の従業員の自宅が床上・床下浸水などの被害を受けました。被災直後の従業員宅には、職場の同僚たちが汚泥の撤去作業に加わり、同時に、100人以上の従業員が被災地域へのボランティア活動に参加し、週末を中心に道路や民家の土砂を撤去するなどの復旧作業を行いました。



ボランティア活動中の様子(2004年7月)

製品の安定供給のために価格の改定を発表

信越化学は、2004年8月から、塩化ビニル樹脂、セルロース誘導体、シリコーン樹脂、半導体封止用エポキシモールドイングコンパウンドなどの価格の値上げを、順次発表しました。いずれも、世界的な原油・天然ガス等の価格高騰による主原料の価格上昇をはじめ、電力・エネルギー、出荷梱包容器、運搬経費などのコストの上昇を、企業努力だけでは吸収できない水準になってきたためです。

当社は、さまざまな産業のお客様に素材を提供している供給者としての責任を果たすために、どのような事業環境においても、製品を安定して供給していくことに努めています。

今回の価格改定は、製品の安定供給のためには欠かせないことであり、株主の皆様をはじめとした、さまざまなステークホルダーの皆様のご期待にお応えしていくために必要なものでした。当社は、今後も事業の強化・充実を推進するとともに、さらに効率的な事業運営に注力していきます。



天然のバルブから作られるセルロース誘導体

ホームページをリニューアルしました

当社は、ホームページを活用したIR活動に積極的に取り組んでおり、すべての株主・投資家の皆様に対してタイムリーかつ公平な情報提供を行っております。

2004年8月には、ホームページのトップページのデザインをリニューアルし、ホームページへの訪問者の皆様ができるだけ情報を検索しやすいように改めました。

財務・IR情報のトップページには、IRに関する最新情報を掲載した「トピックス」を設けています。また、決算短信、決算説明資料、10年間の業績をまとめた業績概要、アニュアル・レポート(英文のみ)、事業報告書、当社の年間IRスケジュールなどの情報も提供しております。

さらに、「会社案内」「製品情報」「財務・IR情報」などの基本情報だけでなく、暮らしの中で使われている当社の応用製品を紹介した「こんなところにもシンエツ」や、「Coffee Break」コーナーなどでも当社に関する情報を発信しています。

当社ではホームページを重要なコミュニケーションツールとして位置づけており、これからもさまざまな情報をタイムリーに発信していきます。

なお、ホームページについてのご意見・ご感想を、下記のURLからお気軽にお寄せください。

<http://www.shinetsu.co.jp/j/contact.html>



信越化学トップページ
<http://www.shinetsu.co.jp/j/>



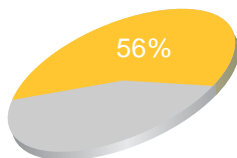
財務・IR情報トップページ
<http://www.shinetsu.co.jp/j/ir/index.shtml>



こんなところにもシンエツ
<http://www.shinetsu.co.jp/j/break/konnatoko.shtml>

当中間期の連結売上高は、前中間期に比べ15.0%増加し、4,685億3千2百万円となりました。中間純利益は、前中間期に比べ23.1%増加し、464億7千7百万円となりました。

有機・無機化学品



[売上高構成比]

主な製品

塩化ビニル

シリコン

メタノール

か性ソーダ

クロロメタン

セルロース誘導体

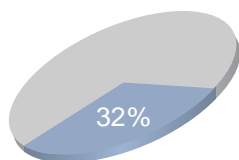
塩化ビニル樹脂は、当社が主力をおく米国市場において、高水準の住宅建設により需要が堅調に推移し、また、原油・天然ガス等の基礎原料価格が高騰したこともあり、販売価格は上昇しました。米国拠点であるシンテック社は、市況動向を的確にとらえた営業活動を行った結果、上半期としては過去最高の売上と営業利益を達成しました。また、オランダのシンエツPVC社は、欧州における需要が堅調で、売上を伸長させました。国内の塩化ビニル事業は、中国での旺盛な需要を受け輸出が好調だったことに加え、前期末に行った国内価格改定が奏効したことにより、売上は伸長しました。さらに原油価格高騰に起因するコスト上昇を受け、9月下旬に再度の価格改定を行いました。これらの結果、塩化ビニル事業は売上を順調に伸ばし、営業利益を大幅に増加させることができました。

シリコンは、電機・電子、自動車、化学品製造、トイレタリー・化粧品、建築など幅広い需要分野を持っております。当中間期の国内販売は電機・電子、自動車、建材、化粧品向けが好調だったほか、海外でも中国を中心とするアジアで売上が増加しました。タイ工場も2004年3月から生産・出荷を開始し、信越ポリマー社のシリコン関連加工製品の売上も順調に推移しました。

このほか、セルロース誘導体は、建材・自動車、医薬向けを中心に堅調で、2003年末に買収したドイツのSEタイロース社も順調に推移し、業績に寄与しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前中間期に比べ16.4%(369億1千9百万円)増加し、2,613億9千8百万円となり、営業利益は15.8%(52億2千4百万円)増加し、383億7千4百万円となりました。

電子材料



[売上高構成比]

主な製品

半導体シリコン

電子産業用有機材料

電子産業用希土類磁石

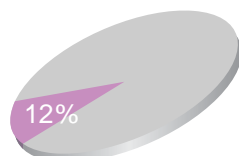
フォトリソ製品

半導体シリコンは、パソコン、携帯電話やデジタル家電向けの需要拡大に伴い、200mmウエハーのほか150mm以下の小口径ウエハーも高水準の出荷が続きました。また、増産投資を行っている最先端300mmウエハーも大きく出荷を伸ばしたほか、SOIウエハー、熱処理ウエハーなどの特殊ウエハーも順調に推移しました。この結果、半導体シリコン事業は売上、営業利益とも大きく増加しました。

電子産業用希土類磁石は、パソコン用、サーバー用、映像記録用に加え、携帯音楽プレイヤー用ハードディスクドライブ向けの出荷が順調でした。電子産業用有機材料、フォトリソ製品は、半導体デバイス産業の好調を受け、売上を伸ばしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前中間期に比べ18.7%(237億8千8百万円)増加し、1,507億8千7百万円となり、営業利益は27.7%(59億6千3百万円)増加し、274億7千8百万円となりました。

機能材料その他



[売上高構成比]

主な製品・業務

合成石英製品

酸化物単結晶

レア・アース

希土類磁石

技術・プラント輸出

商品の輸出入

合成石英製品は、光ファイバー用プリフォームの需要が引き続き低迷したものの、液晶パネル製造時に使用される大型マスク基板は高水準の出荷が続きました。この結果、合成石英事業の売上と営業利益は伸長しました。

希土類磁石は、エアコン向け、FA機器、自動車向けを中心に堅調だったほか、レア・アースは液晶テレビや照明などの蛍光体用で売上を伸ばしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前中間期に比べ0.4%(2億3千9百万円)増加し、563億4千6百万円となり、営業利益は19.3%(17億5千6百万円)増加し、108億7千5百万円となりました。

連結決算の概要

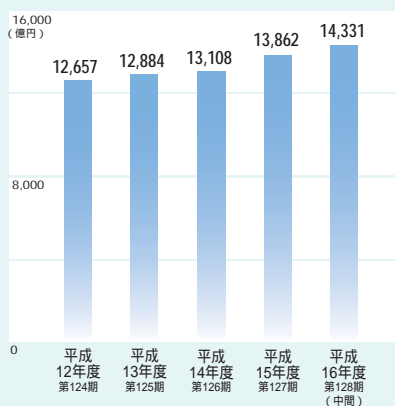
貸借対照表

単位：百万円

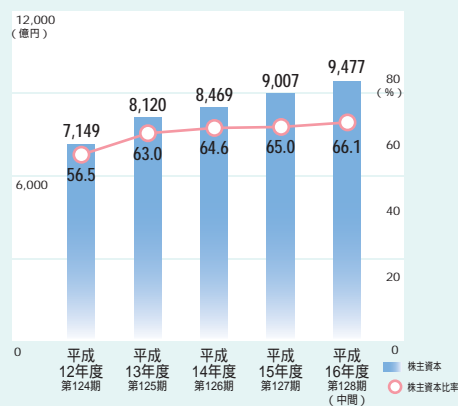
単位：百万円

科 目	前 中 間 期 平成15年9月30日現在	当 中 間 期 平成16年9月30日現在	科 目	前 中 間 期 平成15年9月30日現在	当 中 間 期 平成16年9月30日現在
(資産の部)	(1,346,908)	(1,433,188)	(負債の部)	(428,997)	(457,854)
流動資産	709,892	747,508	流動負債	283,548	336,374
現金・預金	194,715	218,375	支払手形・買掛金	97,756	123,614
受取手形・売掛金	200,407	241,432	短期借入金	52,871	38,678
有価証券	155,227	112,979	一年以内償還社債	8,000	-
たな卸資産	123,530	118,174	一年以内償還転換社債	-	11,599
その他	36,011	56,545	その他	124,920	162,482
固定資産	637,016	685,680	固定負債	145,449	121,479
有形固定資産	451,075	445,428	社債	23,792	29,168
建物及び構築物	161,543	154,205	転換社債	18,183	-
機械装置及び運搬具	197,678	209,201	長期借入金	46,141	53,639
その他	91,853	82,021	退職給付引当金	5,510	6,687
無形固定資産	5,434	24,762	その他	51,822	31,984
投資その他の資産	180,507	215,489	(少数株主持分)	(26,004)	(27,632)
投資有価証券	157,885	190,003	(資本の部)	(891,907)	(947,701)
その他	22,621	25,486	資本金	110,326	113,619
合 計	1,346,908	1,433,188	資本剰余金	119,094	122,384
			利益剰余金	661,130	737,760
			その他有価証券評価差額金	5,232	9,932
			為替換算調整勘定	5,613	(-) 24,762
			自己株式	(-) 9,490	(-) 11,233
			合 計	1,346,908	1,433,188

総資産



株主資本 / 株主資本比率



損益計算書

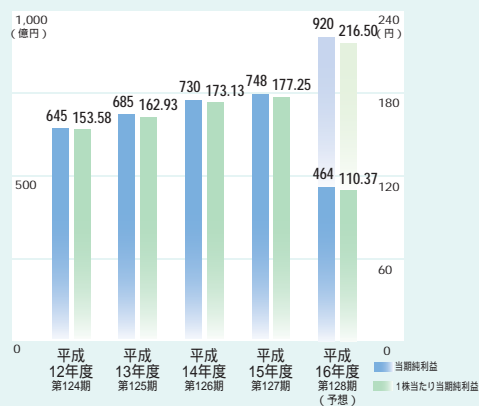
単位：百万円

科 目	前 中 間 期 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	当 中 間 期 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで
売 上 高	407,585	468,532
売 上 原 価	300,197	342,865
販売費・一般管理費	43,536	48,892
営業利益	63,852	76,774
営業外収益	3,665	3,622
営業外費用	4,495	4,581
経常利益	63,022	75,815
税金等調整前中間純利益	63,022	75,815
法人税・住民税・事業税	20,889	31,304
法人税等調整額	3,310	(-) 3,484
少数株主利益	1,079	1,519
中間純利益	37,743	46,477

売上高



当期純利益 / 1株当たり当期純利益



単独決算の概要

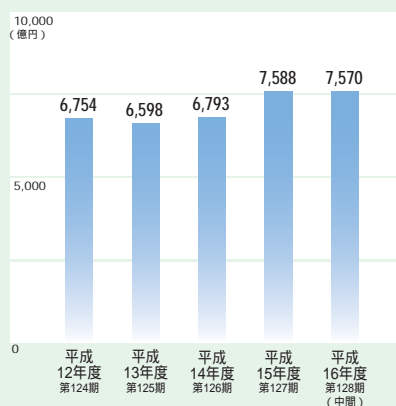
貸借対照表

単位：百万円

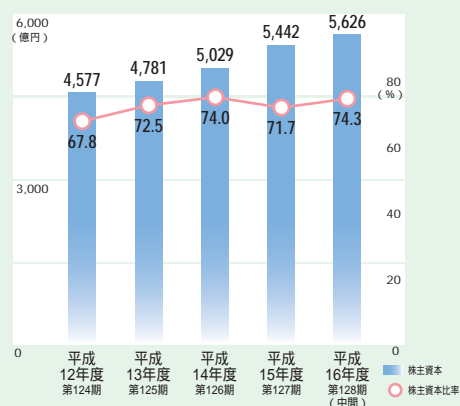
単位：百万円

科 目	前 中 間 期 平成15年9月30日現在	当 中 間 期 平成16年9月30日現在	科 目	前 中 間 期 平成15年9月30日現在	当 中 間 期 平成16年9月30日現在
(資産の部)	(697,994)	(757,029)	(負債の部)	(174,253)	(194,382)
流動資産	391,824	430,843	流動負債	134,304	172,110
現金・預金	119,599	132,711	支払手形・買掛金	86,442	96,899
受取手形・売掛金	141,759	158,822	短期借入金	12,842	16,420
有価証券	53,551	43,453	一年以内償還転換社債	-	11,599
たな卸資産	40,397	36,252	その他	35,019	47,191
短期貸付金	16,224	28,386	固定負債	39,949	22,272
その他	20,292	31,217	転換社債	18,183	-
固定資産	306,170	326,185	長期借入金	17,114	14,962
有形固定資産	115,795	109,346	その他	4,651	7,309
建物及び構築物	37,490	36,038	(資本の部)	(523,741)	(562,646)
機械装置及び車両運搬具	46,087	47,317	資本金	110,326	113,619
その他	32,217	25,989	資本剰余金	111,687	114,977
無形固定資産	1,697	1,029	利益剰余金	307,105	336,609
投資その他の資産	188,677	215,809	利益準備金	6,778	6,778
投資有価証券	119,978	115,346	任意積立金	275,808	302,865
関係会社株式	63,000	95,441	中間未処分利益	24,519	26,966
その他	5,697	5,022	その他有価証券評価差額金	4,111	8,673
合 計	697,994	757,029	自己株式	(-)9,490	(-)11,233
			合 計	697,994	757,029

総資産



株主資本 / 株主資本比率

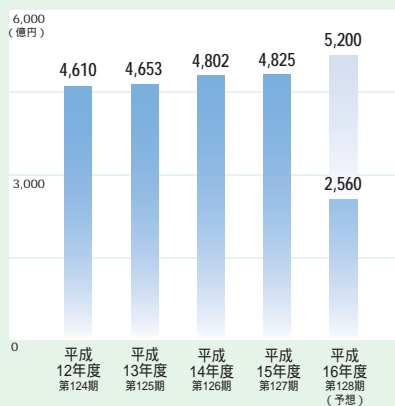


損益計算書

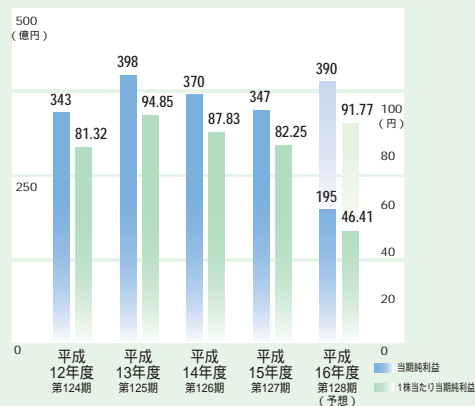
単位：百万円

科 目	前 中 間 期 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	当 中 間 期 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで
売 上 高	238,294	256,081
売 上 原 価	194,488	208,517
販売費・一般管理費	15,140	15,997
営業利益	28,665	31,566
営業外収益	2,870	2,841
営業外費用	2,521	3,364
経常利益	29,013	31,043
税引前中間純利益	29,013	31,043
法人税・住民税・事業税	8,730	12,030
法人税等調整額	2,440	(-) 530
中間純利益	17,843	19,543

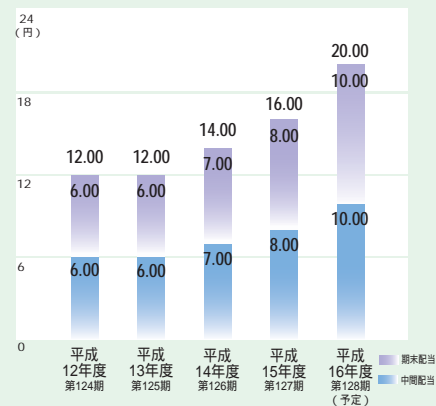
売上高



当期純利益 / 1株当たり当期純利益



1株当たり配当金



会社データ (平成16年11月1日現在)

本 社 〒100-0004
東京都千代田区大手町二丁目6番1号
電話 03(3246)5091
URL <http://www.shinetsu.co.jp>

役員	代表取締役社長	金川 千尋	
	専務取締役	森 俊三	総務・人事関係担当、電子材料事業本部長
	専務取締役	坪倉 弘明	シリコン事業・有機合成事業関係担当
	専務取締役	秋谷 文男	精密材料事業・半導体事業・国際事業・資材・技術関係担当
	常務取締役	三木 良英	企業開発部長
	常務取締役	斉藤 恭彦	社長室・広報・経理・法務関係担当
	取締役	フランク・ピーター・ポポフ	米国ダウ・ケミカル社会長
	取締役	河野 俊二	東京海上日動火災保険(株)相談役
	取締役	幅田 紀一	環境保安関係担当、群馬事業所長、磯部工場長、松井田工場長
	取締役	石原 俊信	新機能材料技術研究所長、新機能材料部長
	取締役	宮島 正紀	塩ビ事業本部長
	取締役	中村 敦	有機合成事業部長
	取締役	小野 義昭	シリコン電子材料技術研究所長、研究特許部長、新規製品部長
	取締役	荒井 文男	シンエツPVC社取締役社長、SEタイロース社取締役社長
	常勤監査役	岡田 理	
	監査役	渡瀬 昌彦	
	監査役	岡崎 真雄	ニッセイ同和損害保険(株)代表取締役会長
	監査役	高垣 佑	(株)東京三菱銀行相談役

取締役フランク・ピーター・ポポフおよび河野俊二は商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。

監査役渡瀬昌彦、岡崎真雄および高垣 佑は株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

営業所 大阪支店、名古屋支店、福岡支店、札幌営業所、長野営業所、北関東営業所(群馬県)

工場 直江津工場(新潟県)、武生工場(福井県)、群馬事業所/磯部工場・松井田工場(群馬県)、鹿島工場(茨城県)

研究所 シリコン電子材料技術研究所、精密機能材料研究所(以上群馬県)、塩ビ・高分子材料研究所(茨城県)、
合成技術研究所、新機能材料技術研究所(以上新潟県)、磁性材料研究所(福井県)

従業員数 2,536名(連結18,177名)(平成16年9月30日現在)

主要関係会社 シンテックINC.、信越半導体(株)、シンエツハンドウタイアメリカINC.、信越ポリマー(株)、S.E.H.マレーシアSDN. BHD.、
シンエツPVC B.V.、直江津電子工業(株)、信越石英(株)、シンエツハンドウタイヨーロッパLTD.、
信越エンジニアリング(株)、信越アステック(株)、鹿島塩ビモノマー(株)、日本酢ビ・ポバル(株)、日信化学工業(株)
SEタイロース GmbH & Co.KG

株式の状況 (平成 16 年 9 月 30 日現在)

株式数及び株主数等

発行する株式の総数： 1,670,000,000 株

発行済株式総数： 426,058,761 株

(注) 自己株式 2,611,131 株が含まれております。

資本金： 113,619,721,997 円

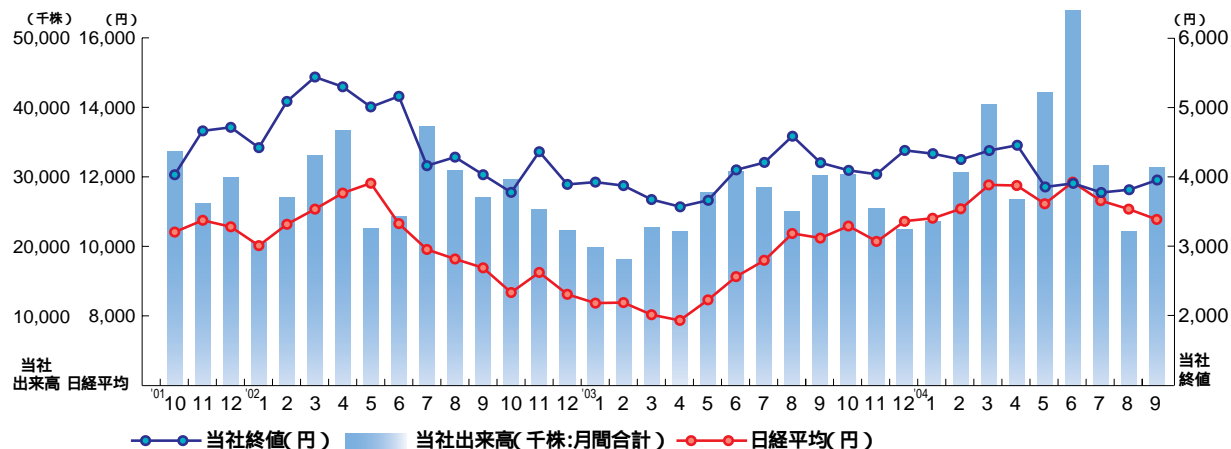
株主の総数： 55,513 名

大株主 (上位 10 名)

(千株未満は切捨表示)

株主名	持株数	議決権比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	39,721	9.4
日本トラスティサービス信託銀行株式会社信託口	35,489	8.4
日本生命保険相互会社	22,762	5.4
株式会社新生銀行	14,813	3.5
株式会社東京三菱銀行	13,095	3.1
株式会社八十二銀行	11,790	2.8
明治安田生命保険相互会社	11,529	2.7
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505103	10,835	2.6
日本興亜損害保険株式会社	10,077	2.4
富国生命保険相互会社	5,877	1.4

株価情報



株主メモ 決 算 期 毎年 3 月 31 日

株 主 配 当 金	毎年 3 月 31 日最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主または登録質権者に支払います。
中 間 配 当	実施する場合は、毎年 9 月 30 日最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主または登録質権者に支払います。
定時株主総会 公告掲載新聞名 1単元の株式の数 株式名義書換	毎年 6 月 東京都において発行する日本経済新聞 100 株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 5 号 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 5 号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
(連 絡 先)	〒 171- 8508 東京都豊島区西池袋一丁目 7 番 7 号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-707-696 (フリーダイヤル)
同 取 次 所 単元未満株式の買取請求 および買増請求	三菱信託銀行株式会社 全国各支店 単元未満株式 (100 株未満の株式) の買取請求 および買増請求は、上記の名義書換代理人事務 取扱場所および同取次所にて受付けております。 ただし、株券保管振替制度をご利用されている 場合は、お取引の証券会社にお申し出下さい。な お、買増請求は、3 月 31 日および 9 月 30 日の それぞれ 12 営業日前から当該日までの期間は お取扱いができませんので、ご留意下さい。

株式取扱手数料

名 義 書 換	無	料
不所持株券の発行による新券の交付 毀損、汚損、喪失による新券の交付	1 枚につき 200 円 (消費税を含む)	
上場証券取引所	東京・大阪・名古屋	

お 知 ら せ

- 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求・買増請求に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル 0120-86-4490 で 24 時間承っておりますので、ご利用下さい。
- 配当金を郵便貯金口座へお振込みすることもできます。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので名義書換代理人に指定書用紙をご請求下さい。
- 平成 15 年 4 月 1 日施行の商法改正により「株券失効制度」がスタートし、株券を喪失された場合の手続が従来の公示催告・除権判決にもとづく再発行手続より簡便となりました。詳細は名義書換代理人にご照会下さい。